

奈良工業高等専門学校		開講年度	令和05年度 (2023年度)		授業科目	地域創生工学研究	
科目基礎情報							
科目番号		0015		科目区分		専門 / 選択	
授業形態		実験		単位の種別と単位数		履修単位: 10	
開設学科		物質創成工学専攻		対象学年		専1	
開設期		通年		週時間数		10	
教科書/教材							
担当教員							
到達目標							
データ解析法、結果の整理法、表現・発表能力、論文作成能力の基礎力を養うこと。 研究発表会：研究計画を立案し、実験装置を作成し、実験方法を確立するとともに、研究発表要旨に研究成果の概要をまとめ、発表する能力を養うこと。加えて、地域の問題について関心を持ち、その解決に積極的に関わろうとする態度を有すること。							
ルーブリック							
		理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
研究計画（論文調査含む）		研究テーマを進めるための論文調査や基礎学問を修め、自ら研究計画を立てることができる。		研究テーマを進めるための論文調査や基礎学問を修め、教員とともに研究計画を立てることができる。		研究テーマを進めるための論文調査や基礎学問を修められず、研究計画を立てることができない。	
研究態度		自発的に研究に取り組み、データ収集および解析することができる。		研究に取り組み、データ収集および解析することができる。		データ収集および解析することができない。	
発表準備及びプレゼンテーション能力		発表会のプレゼンテーション資料作成に向けた十分な準備ができ、プレゼンテーション能力を磨いている。		発表会までにプレゼンテーションの資料を作成し、発表できる。		発表会までにプレゼンテーションの資料作成と発表ができない。	
学科の到達目標項目との関係							
教育方法等							
概要		地域の企業や自治体との共同研究を通じて、地域創生に関連する研究活動を行う。専攻科教育の主なねらいである、目標設定から達成まで一貫して遂行できる研究開発能力を持つ技術者の育成を目標に、本科 5 年次の卒業研究の経験を基礎に、より高度な個別研究を行うために、目標設定から達成まで一貫して遂行できる研究開発能力の基礎力を育成するとともに、地域が抱える問題に関心を持ち、それを解決するための課題解決力も養成する。 研究テーマを設定し、特別研究の基礎となる研究を行う。成果を研究発表要旨にまとめ、研究発表会で発表を行う。これらを通して、論文作成、プレゼンテーション、資料作成の基礎力を育成するとともに、コンピューター利用技術を養成する。					
授業の進め方・方法		与えられた条件下で研究目的を達成するための研究計画を立てる。国内外の関連した文献を調査し、研究の位置づけを行う。結果の解析、整理においては、自ら考えてオリジナリティーを出すよう努力する。データ解析、図表作成、参考資料の検索においては積極的にコンピューターを利用し、その技術を習得すること。さらに、地域創生の観点からは、自身の研究が地域創生においてどのように役立つかも考えながら研究に取り組むこと。					
注意点		目標を達成するために、研究計画、実験実施、論文作成、成果発表に至るまで、文献検索、資料作成等、独自であらゆるスキルを磨くこと。 事前学習：研究テーマに関連した国内外の文献調査を積極的に行うこと 事後展開学習：研究計画に基づいて自主的かつ積極的に進めるとともに、常に進捗状況を指導教員に報告し、十分な討論を行うこと。					
学修単位の履修上の注意							
週ごとの到達目標に関して指導教員の指示に応じて取り組むこと。 報告書の完成に至るまで、指導教員との間で十分な報告、連絡、相談ができていないこと。 発表に関して、十分な推敲を重ねた結論と展望が述べられること。							
授業の属性・履修上の区分							
☐ アクティブラーニング		☐ ICT 利用		☐ 遠隔授業対応		☐ 実務経験のある教員による授業	
授業計画							
		週	授業内容		週ごとの到達目標		
前期	1stQ	1週	ガイダンス		研究の遂行方法、文献調査法		
		2週	研究室配属		指導教員の決定		
		3週	テーマ設定、各指導教員による研究指導		プロセス工学、有機合成、電気応用化学、生物工学の4つの研究分野、および、これらの境界領域を含めた幅広い分野から自分に適した研究テーマを選択する。 指導教員から関連文献の検索法、外国語の文献読解、実験について指導を受ける。		
		4週	テーマ設定、各指導教員による研究指導		プロセス工学、有機合成、電気応用化学、生物工学の4つの研究分野、および、これらの境界領域を含めた幅広い分野から自分に適した研究テーマを選択する。 指導教員から関連文献の検索法、外国語の文献読解、実験について指導を受ける。		
		5週	テーマ設定、各指導教員による研究指導		プロセス工学、有機合成、電気応用化学、生物工学の4つの研究分野、および、これらの境界領域を含めた幅広い分野から自分に適した研究テーマを選択する。 指導教員から関連文献の検索法、外国語の文献読解、実験について指導を受ける。		

[illegible]

		5週	テーマ設定、各指導教員による研究指導	プロセス工学、有機合成、電気応用化学、生物工学の4つの研究分野、および、これらの境界領域を含めた幅広い分野から自分に適した研究テーマを選択する。 指導教員から関連文献の検索法、外国語の文献読解、実験について指導を受ける。
		6週	テーマ設定、各指導教員による研究指導	プロセス工学、有機合成、電気応用化学、生物工学の4つの研究分野、および、これらの境界領域を含めた幅広い分野から自分に適した研究テーマを選択する。 指導教員から関連文献の検索法、外国語の文献読解、実験について指導を受ける。
		7週	テーマ設定、各指導教員による研究指導	プロセス工学、有機合成、電気応用化学、生物工学の4つの研究分野、および、これらの境界領域を含めた幅広い分野から自分に適した研究テーマを選択する。 指導教員から関連文献の検索法、外国語の文献読解、実験について指導を受ける。
		8週	テーマ設定、各指導教員による研究指導	プロセス工学、有機合成、電気応用化学、生物工学の4つの研究分野、および、これらの境界領域を含めた幅広い分野から自分に適した研究テーマを選択する。 指導教員から関連文献の検索法、外国語の文献読解、実験について指導を受ける。
	4thQ	9週	テーマ設定、各指導教員による研究指導	プロセス工学、有機合成、電気応用化学、生物工学の4つの研究分野、および、これらの境界領域を含めた幅広い分野から自分に適した研究テーマを選択する。 指導教員から関連文献の検索法、外国語の文献読解、実験について指導を受ける。
		10週	テーマ設定、各指導教員による研究指導	プロセス工学、有機合成、電気応用化学、生物工学の4つの研究分野、および、これらの境界領域を含めた幅広い分野から自分に適した研究テーマを選択する。 指導教員から関連文献の検索法、外国語の文献読解、実験について指導を受ける。
		11週	テーマ設定、各指導教員による研究指導	プロセス工学、有機合成、電気応用化学、生物工学の4つの研究分野、および、これらの境界領域を含めた幅広い分野から自分に適した研究テーマを選択する。 指導教員から関連文献の検索法、外国語の文献読解、実験について指導を受ける。
		12週	研究発表要旨作成	1年間の研究成果の概要を要旨にまとめる。
		13週	研究発表要旨作成	1年間の研究成果の概要を要旨にまとめる。
		14週	研究発表会	1年間の研究成果を発表する。
		15週	総合討論	発表会での質疑に基づいて研究計画を再検討する。
		16週		

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標				到達レベル	授業週
評価割合								
	試験	発表	研究計画・態度	態度	ポートフォリオ	その他	合計	
総合評価割合	0	70	30	0	0	0	100	
基礎的能力	0	30	10	0	0	0	40	
専門的能力	0	30	10	0	0	0	40	
分野横断的能力	0	10	10	0	0	0	20	